

吉祥院天満宮は唐橋の南にあり。本社は菅神を祭る。吉祥院には吉祥天女を安置す。〔伝教大師の作なり。此所は菅家の御領地にして別荘あり。菅家の祖清公卿、延暦二十三年遣唐使として異朝に趣く時に、船中にして風波の難に値ふ。此折しも伝教大師求法の為に入唐し、則同船して吉祥天女の法を修す。忽順風吹て帰朝せり、故に伝教大師吉祥天女の像を造る。清公卿は此地に堂舎を建て此尊像を安置し、吉祥院と号す〕石原井〔鳥居の傍にあり。菅神此水に神影をうつし給ふとなん。近年書家烏石葛辰碑の銘をきざむ〕